

2025
July

7

CONTENTS

画像とITの
医療情報ポータルサイト



innavi net

http://www.innervision.co.jp

CT 国内稼働 50 周年企画

CT技術の歩みと未来に向けて 革新の軌跡,そしてさらなる進化へ

企画協力: 船間芳憲 (熊本大学大学院生命科学研究部・医用画像解析学教授)

1. CT 技術の 50 年の歩みと未来に向けて 船間芳憲 04
2. 世界初の CT「EMI-Scanner」の概要と国内展開 津島 総 06
3. 国産 CT 第 1 号機の開発経緯と概要 伊藤 健 07
4. スキャン方式の進化 1:
面検出器に至る多列化の歩みと将来展望 中島沙記 08
5. スキャン方式の進化 2:
2 管球 CT に至る X 線管球の歩みと将来展望 藤原知子 12
6. フィリップス社製 CT 検出器の軌跡:
2 層検出器に至る系譜と進化 樋口 江 17
7. CT 画像の画質・線量低減の進化と将来展望 永山泰教 23
8. 造影 CT の進化と将来展望 尾田清太郎 27
9. ワークステーションの進化と将来展望 横町和志 32
10. マルチポジション CT が描き出す CT の新たな可能性 ... 伊藤雄也 37

特集

課題解決に向けた AI 活用の最前線 働き方改革から 2040 年問題まで医療の課題に立ち向かう

企画協力: 藤田広志 (岐阜大学特任教授)

I 医療における AI 研究開発の最新動向と将来展望

1. 放射線診療における生成 AI の現状と展望 植田大樹 42
2. わが国における医療 AI 開発の課題と展望 島原佑基 47
3. 生成 AI による CAD の進化とその未来 藤田広志 50
4. 基盤モデルの現状と将来展望 小田昌宏 54
5. 医療におけるノーコード AI 開発の実際と今後の可能性 ... 平原大助 58
6. 「SYNAPSE Creative Space」による
医療 AI 開発の実際 伊藤広貴 62
7. 「Amazon Bedrock」による医療における生成 AI 活用 ... 遠山仁啓 65

II 医療機関の課題解決に向けた生成 AI 活用

1. 診療業務効率化に向けた生成 AI 活用 榊原祥裕 68
2. 退院時サマリの生成 AI による作成
— 大学病院での実証を通じて 湯澤由紀夫 72

III 放射線診療の課題解決に向けた AI 活用

1. シーメンス社製 CT 装置と「syngo.via」による AI 技術が
実現する業務課題の解決 中根 淳 75
2. AI を活用した 3T「MAGNETOM Lumina」導入による
業務課題解決の実際 納 正信 79

別冊
付録

ITvision No.54

2025 ● July
月刊インナービジョン
第 40 巻第 7 号付録



新シリーズ 人生 100 年時代の X 線撮影
明日から使える! 変わりゆく腰椎撮影の技術

第 1 回

変わりゆく腰椎の X 線撮影

安藤英次 90

心臓 CT 検定
世界的ガイドラインから学ぶ最新の心臓 CT

第 2 回

安定した狭心痛を訴える症例に どの検査をすべきか?

船橋伸禎 94

バイエル ソリューションレポート
Solutions for Innovating Radiology ~新たな造影 CT 検査の可能性を考える~

マルチユース CT インジェクションシステムユーザー会
「Centargo Connect」

「DO LESS. CARE MORE.”を
あなたの現場でもっと実現するために」
をテーマに第 1 回ユーザー会
「Centargo Connect」を開催 40

Special Contribution

ISMARM-Program Chair

AMPC と共に歩んだ 3 年間の軌跡

山田 恵 83

varian RT REPORT
人にやさしいがん医療を放射線治療を中心に

No.28

人とシステム, そして効率的な治療業務をつなぐ

—ARIA CORE とバリアン AOS がもたらす
新たな可能性—

永安結花里 88

IV リポート

・ JIRA が 2025 年度定時社員総会を開催
ITEM2025 のリアル展示への回帰傾向などを
報告 100

- Medical & AI News Topics 96
- モダリティ EXPO 最新展示情報 98
- Information
・ 第 28 回 CT サミット 99
- 市・場・発 100
- 次号予告 101

INNERVISION

http://www.innervision.co.jp
E-mail info@innervision.co.jp
Cover CG: Makoto Ishitsuka